

地域を育てる緑の道 ～未来を描く物語仕立ての社会資本の活用～



北海道旭川市
緑道ワークス／旭川市

① 社会資本の概要

「七条緑道」は、北海道旭川市にある都市計画道路で、日本初の恒久的歩行者専用道路となった「平和通買物公園」と交差する位置にあり、道立美術館や公会堂などの文化施設がある「常磐公園」と「旭川市民文化会館、市役所」を始めとする主要な公共施設を繋ぐ道として重要な役割を果たしています。

緑道の周辺には個性的なカフェやギャラリー、雑



北海道旭川市のシンボルロード「七条緑道」



美しい冬のイルミネーション

② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

近年、中心市街地から郊外への住宅地の拡大、大型商業施設の移転などに伴う中心部の活力低下に伴い、七条緑道周辺の商店や、地域を訪れる歩行者が徐々に減少していました。

こうした状況を変えるため、緑道から旭川の未来の暮らしを考えるべく地域住民を主体とするプロジェクトが始動し、緑道ワークスが旭川市初となるアダプトプログラム協定を締結したことによって、住

民主体の美化活動による地域づくりが始まりました。

子どもたちがこの道で育ち、また帰ってきたいと思える場所となるように物語仕立ての空間づくりを思い描き、緑道新聞による地域情報の発信、緑道文化まつりによる子ども向けイベントの開催や、学生による地域在来植生の播種など、七条緑道という社会資本を活用した未来を見据えた取組が、産官学との連携のもと市民の手で着実に進められています。



緑道の維持管理に子どもたちも参加



学生による在来植生オオウバユリの播種



憩いの空間づくり

③ 活動の成果や波及効果等

市民による美化活動や、七条緑道を活用した各種イベント、新聞やSNSによる情報発信を通じて、地域の担い手としての誇り、地域資源を大切に思う意識の形成に繋がり、若い世代も緑道に関心を持ち始めています。

市民活動により七条緑道の魅力が再注目され、歩行者の回復や沿道の出店などに繋がりました。

緑道を愛する人たちの力で、未来の旭川市民のために心地よい空間づくりを進めていきます。



緑道文化まつりの学生による紙芝居



ガイド養成ワークショップ



緑道新聞による地域情報の発信とボランティアサポーター募集

●● 喜びの声 ●●



受賞者

緑道ワークス
代表 あべ 弘士

コメント

多くの人に緑道を知ってもらいたいと、地域住民を中心に理想のまちについて何度も話し合い、この場所での過ごし方や、楽しみ方をコツコツ提案してきました。お花をもらったり、通りかかったのをきっかけに参加者が増えたりと、地域の皆さんと一緒に、文字通り手作りしてきた小さなまちの活動が、全国を対象としたこの度の賞をいただけてとても嬉しいです。自分たちらしく楽しみながら、住民の手作りでまちを創る、この想いを次の世代へと繋いでいきたいと思います。(会員一同)

活動の内容

- ・七条緑道の景観整備・清掃活動
- ・植栽の手入れ・緑道活用イベント
- ・未来の旭川市民に向けた地域づくり

活動の経緯

- 平成 25 年 再整備検討開始、緑道新聞創刊
- 平成 27 年 緑道ワークス設立
アダプトプログラム締結
- 平成 28 年 緑道文化まつり開催（継続）
- 平成 29 年 寄付金付き商品販売開始
- 平成 30 年 七条緑道エコミュージアム開催

所在地

北海道旭川市7条通8丁目39番16号

活動主体及び連絡先

緑道ワークス
(0166-73-8289)

<https://www.facebook.com/ryokudouworks/>

対象となる社会資本

7条公園通（七条緑道）
※管理者：旭川市

